

【企業経営部門】

委員会
委員長

企業革新委員会

岡本 毅（岡本硝子(株) 代表取締役社長）

1. 活動目的

経営者同士の切磋琢磨による研鑽や先達による講演会等を通じ、経営現場に直結するような実践的な学び・気づきの場を提供する。

また、規模の大小を問わず、一流の経営者としての品格を身につけ、社会貢献度が高く、魅力的な企業（エクセレントカンパニー）の創造に向かって、「失敗してもいいからやってみよう！」精神で積極的に取り組む経営者を育てる。

2. 活動内容

1. ゼミナール…委員クローズでプレゼン+ディスカッション形式の双方向で行う。

(1) ゼミナールⅠ 「我が経営を語る」

①失敗談を中心に他山の石とすると共に、いかにしてそれを乗り越え、今日に至ったかを学ぶ。

②起業したものの思い通りに成長しない、売上は上がるが、利益水準が低いまま、等の会員企業が日頃抱えている問題を解決するヒントを提供する。（例「経常利益1億円の壁」をどう越えるか？）

(2) ゼミナールⅡ 「日本的経営」「マネジメント強化」

①近江商人の「三方よし」、石門心学、二宮尊徳等のような日本的経営について学ぶ。

②経営の質の向上、マネジメント強化について学ぶ。

2. 講演会…委員に限定せずオープンで行う。

NBCに関わる有名人の講演や対談会、著名人・有識者の講演を実施する。

3. 企業視察 年間2回

これからの時代に可能性がある、普通では出会えないような気づきのある特殊なところを現地訪問する。

※ NBRTについては、今年度より、企業革新委員会の管轄外とする。

3. スケジュール（予定）

1. ゼミナールⅠ（年4～5回） ゼミナールⅡ（年2～3回）

2. 講演会（年2～3回）

3. 企業視察（年2～3回）

4. 運営組織（副委員長等）

副委員長 こもだ たかこ（株）エス・エス・ジー 代表取締役社長）

山家 一繁 （株）ワイエムジーワン 代表取締役社長）

中島 セイジ （株）クウォーターバック 代表取締役社長）

委員長から

どんな時代であろうとも、良い会社と悪い会社の区分は明確で、経営者は勿論、「考える癖のある社員が多い会社」が良い会社である。

そこで、問題です。「あの世」に行って道を歩いたら途中から道が二つに分かれていました。表示板が立っており、そこには「一方は天国へ、一方は地獄への道である。この先にその日の当番がいるからその当番に聞けばよい。ただし、当番は日替わりで、天国から来た当番は本当のことしか言わないが、地獄から来た当番は、必ず嘘を言う。質問は1回限り。」さて、あなたなら天国へ行くためにはどういう質問をしますか？

答えは、企業革新委員会です。

【企業経営部門】

委員会 委員長	朝食会委員会 坂田 生子 (株)松下運輸 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的 知恵のインプットとリフレッシュを目的に、多忙な経営者の朝の時間を有効活用して、NBC会員相互のコミュニケーションを含む講演会や体験学習を行なう。 テーマは、タイムリーなものから日本の伝統文化、日本人としての教養を高めて、国際人としてのマナーを学習する等、幅広いジャンルから取り上げる。</p> <p>2. 活動内容 (1) 活動時間 AM7時半～9時 終了後ティータイムを儲ける。 (2) 運営 ①朝食を取りながら開催（多忙な方が多いので朝の時間帯を有効活用する） ②定員締め切り制（最大22名：講師含まず） ③参加費：各回4,500円（会場受付にて徴収）</p> <p>3. スケジュール（予定） 第1回 2011年04月28日（木） 第2回 2011年05月12日（木） 第3回 2011年07月28日（木） 第4回 2011年09月28日（水） 第5回 2011年10月13日（木） 第6回 2011年11月24日（木） 第7回 2012年02月23日（木）</p> <p>会場はANAインターコンチネンタルホテル東京（港区赤坂）、もしくは企画に応じて指定する場所。</p> <p>4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 三ツ谷 佐代子 (株)ビーコムコーポレーション 代表取締役社長) 黒部 得善 (株)リーガル・リテラシー 代表取締役)</p>	

【企業経営部門】

委員会 委員長	ITビジネス委員会 剣持 忠 (株)メンバーズ 代表取締役)
<p>1. 活動目的</p> <p>1996年以降に設立された企業(若い企業)は2001年から2006年までの5年間で121万の雇用を創出しているにも関わらず、規模の大小問わず1996年以前に設立された企業(古い企業)は2001年からの5年間で310万人の雇用を減らしています。つまり、経済発展、国内雇用の創出には新たなベンチャーの起業や大手企業の新規事業開発などのニュービジネスの創出が鍵となっています。また、米国ではVCが介在するベンチャー企業のエグジットのうち09年度にはIPOが12社に対して大企業や成功ベンチャーによるM&Aが271社と大企業や成功ベンチャー、ベンチャーキャピタリスト、ベンチャー企業によるニュービジネス創出のエコシステムが確立されていると言えますが、国内のM&A市場は米国のようなエコシステムがなく発展途上と言わざるを得ません。</p> <p>今年度、ITビジネス委員会では「Connect!」を主宰し、大企業や成功ベンチャー、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタリスト、起業家予備軍の交流を促進し、業務提携、資本提携、M&Aを含めたニュービジネス創出のエコシステムのうねりを起こし、国内経済の活性化、雇用創出に貢献していきます。</p> <p>また、情報の流れ方、影響力に急激な変化を及ぼすソーシャルメディアの企業の活用法、対応策について学ぶ機会を提供します。</p> <p>2. 活動内容</p> <p>(1) ベンチャーと大企業を結びつけるOpen Innovation Network「Connect!」の企画、運営 固有技術を持ち、スケーラビリティの高く発展途上のベンチャー経営者、大企業や上場大手ベンチャーの事業開発担当者、ベンチャーキャピタリスト、起業準備中の学生等が一同に会する場(リアルな場とFacebook等の活用とを活用した場を設け、交流を促進する。</p> <p>(2) ソーシャルメディア関連のセミナーや勉強会の開催</p> <p>3. スケジュール(予定)</p> <p>(1) Connect! キックオフイベント 4月18日(月) 16:00~ 300人規模 を開催。 以降、年に2回ペースで開催予定。 また、大規模イベントとは別に小規模での交流を検討する。</p> <p>(2) ソーシャルメディア関連のセミナーや勉強会を年に2回開催予定。</p> <p>4. 運営組織(副委員長等)</p> <p>副委員長 石川 秀人(株)チームファクトリー 代表取締役社長)</p>	

【事業創出部門】

委員会 委員長	ベンチャー創出委員会 田中 豊（アートグリーン(株) 代表取締役社長）
<p>1. 活動目的</p> <p>(1) 起業志望者を実践的に支援し、新事業や雇用の創出に貢献する。</p> <p>(2) 後進の育成に寄与するだけでなく、支援活動や委員相互の情報交換・交流を通じて、自らのアントレプレナー精神を再認識し、自社の経営、ベンチャー創出にも役立てる。</p> <p>2. 活動内容</p> <p>(1) 関東経済産業局との共同事業「起業家予備軍(応援)コミュニティ」を4期目として継続実施。 起業家予備軍・または起業間もないアーリー起業家に対して、委員はメンター的な立場で参加し、実践的なアドバイスをする。</p> <p>(2) 旬なニュービジネスの勉強会の実施 ヘルスケア、農林業、医療、福祉、保育等々、ジャンルを問わず、タイムリーな成長ビジネスを取り上げ、学ぶ機会を提供する。この学習会開催にあたっては、他委員会と合同企画を積極的に推進する。</p> <p>3. スケジュール（予定）</p> <p>(1) 起業家予備軍(応援)コミュニティ</p> <p>※GW明け頃より、新規参加者募集開始。</p> <p>年間、5回実施 開催間隔は、要検討 少人数でのプレストと、全体での懇親会を、毎回設ける。</p> <p>(2) ニュービジネスに関する勉強会 随時</p> <p>4. 運営組織（副委員長等）</p> <p>副委員長 大平 雄伸（(株)OMG 会長） 永瀬 俊彦（事業創造キャピタル(株) 代表取締役） 勝 猛一（勝司法書士法人 代表社員） 櫻澤 仁（文京学院大学 経営学部 教授） 東野 徹（(株)メディカルプラットフォーム 代表取締役） 近藤 浩（LMNホールディングス(株) 代表取締役社長）</p>	

【事業創出部門】

委員会 委員長	人財創生委員会 高橋 ゆき (㈱ベアーズ 専務取締役)
<p>1. 活動目的 今とこれからの時代を担う、人財像を示し、創生することを活動目的とする。</p> <p>2. 活動内容 新たな社会が求める人財、アントレプレナー精神及び Born Global な視点を持った人財を社会に輩出すべく、「企業の雇用環境」、「人財の育成」、「企業と人財のマッチング」の3方面から支援活動を行う。具体的な活動内容は以下の通り。</p> <p>(1) 実践的な産官学連携を構築する。 ①既存の連携大学と、包括提携協定等の枠の中でコミュニケーションを深耕する共に、個別の大学からの要請に可能な限り、応えていく。 具体的には、外部講師の出前やインターンシップの受入、共同研究等。 ②経済産業省起業家人材育成事業「大学・大学院起業家教育推進ネットワーク」外部講師派遣、インターンシップ受入企業紹介を継承する。 ③新規で、ユニークな大学との連携を開拓する。 ④新たな試みとして、高校との連携を模索する。(高校生と交流の機会を設定する) ⑤NBC 独自事業の大学生の寺子屋かいぎを継続実施する。</p> <p>(2) 22 年度ダイバーシティ勉強会で学習した Born Global について、人財育成の視点からより深めた学習会を開催する。</p> <p>(3) 3 委員会合同プロジェクト「新しい暮らし方総合研究所」サイトの運営、活性化を行う。</p> <p>3. スケジュール (予定)</p> <p>4月 委員会キックオフ 5月 Born Global 勉強会 (自主型) NBC と関わりの深い、Born Global な視点を持った学生も交え、勉強会を実施 6月 インターンシップ良縁組発表から学ぶ 7月 Born Global 勉強会 Born Global 実践企業や大学教授を講師として招聘し、対談形式の勉強会を実施 9月 高校生に出向き、講演会、座談会等により、高校生との交流を図る 10月 インターンシップ報告会/今だから言えるシリーズ第2弾 (中小企業の人事施策) 11月 寺子屋かいぎ</p> <p>個別大学からの外部講師派遣、インターンシップ受入企業紹介等の要請については随時応えていく。 また、3委員会合同プロジェクトに関しては、年間を通して、積極的に活動する。</p> <p>4. 運営組織 (副委員長等)</p> <p>副委員長 今井 勉 (㈱アインザ 代表取締役社長)、 奥寺 邦俊 (オーエフピー(有) 代表取締役) 金子 篤史 (㈱エックスグラビティ 代表取締役社長) 黒部 得善 (㈱リーガルリテラシー 代表取締役) ※氏名 五十音順</p>	

【事業創出部門】

委員会 委員長	企業内新規事業委員会 吉井 信隆（インターウォーズ(株) 代表取締役社長）
<p>1. 活動目的 パラダイムシフトへの変革期の今、業種業態を問わずグローバル IT 社会でのイノベーションしていかなければ存続できない時代を迎えています。次世代の「収益を確保する事業成長エンジン」を開発創生していく、企業内の経営資源を生かした「企業内起業」への「経営のスタンスと、起業家育成のあり方」の「失敗と成功の要因」を学び企業内新規事業開発の核心に迫ることを、目的にして活動して参ります。</p> <p>2. 活動内容 (1) ①企業内アントレプレナーを、発掘育成してゆく、スタンスとノウハウを学ぶ。 支援するインキュベーターに学ぶ。 経営の立場のから、インキュベーションスタンスやノウハウを学ぶ。 イントレプレナーに学ぶ。</p> <p>以上の方から理解を深める話しや、交流会を併設したプログラムで行う。 目的によって 50～100 名や 20～30 名と、規模を選択する。</p> <p>(2) これまでの活動からの「実践からの気づき」「体感」「理論」を、習得する。 ＜過去の実績＞ ローソン新浪社長、 三菱商事クリエイイトレストランツ岡本社長 パナソニックのスピニアップファンド水間推進室長、荏原製作所発のぼど倉橋社長 JTB グループのモチベーションズ大塚社長 NSG グループ発 銀座「十石」葉萱社長 堀場製作所 創業者 堀場ファウンダー リクルート 池内取締役始め、多くの皆様から、新規事業における実践からの体感、理論を学ぶ。</p> <p>(3) 他委員会との共催、合同企画を積極的に行う。 関連の委員会との合同で、企業内起業をテーマに積極的に連動しながら、新規事業創出に関する知識を NBC 会員の皆さんに共有化してゆく。 ＜過去の実績＞ 定例会 マイクロソフト樋口社長 スターバックス岩田社長 ローソン新浪社長、 オールアバウト江幡社長に、よる講演</p> <p>3. スケジュール（予定） 年 2 回程度開催予定</p> <p>4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 大塚 雅樹（(株)ジェイティビー法人東京 取締役マーケティング部長） 熊崎 友久（アビックス(株) 代表取締役社長） 浜田 宏幸（(株)キタムラ 代表取締役社長COO）</p>	

【会員交流部門】

委員会 委員長	イベント交流委員会 山尾 百合子 (株)メイン 代表取締役)
<p>1. 活動目的</p> <ul style="list-style-type: none">・会員が（誰でも）気軽に参加でき、情報交換、交流、親睦を図る為の場をつくり、相互研鑽とヒューマンネットワーク構築を支援する。・参加者が満足し、楽しく、かつ勉強になる「実質的」な合宿・イベントの企画運営を目指す。 <p>2. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none">(1) NBC 合宿（1泊2日）の企画・運営。参加者自身が最高に楽しみ、そして、お互いの信頼関係を築くきっかけ、また、自己研鑽の場となるような内容を企画する。(2) 忙しい日常を離れ、自然を体感する中で、会員の相互交流を深耕する為の企画「ワイン用ぶどう収穫体験」を立案・実施する。(3) クリスマス会をはじめとしたイベントの企画・運営、会議室を飛び出しての交流会の企画・運営。 <p>3. スケジュール（予定）</p> <ul style="list-style-type: none">(1) NBC 合宿 2011年6月18日～19日（土日） 会場：南房総 富浦ロイヤルホテル（館山）(2) 9月10日（頃予定）、修善寺・ワイナリーシャトーT.S.にてワイン用ぶどう収穫体験。(3) クリスマスパティー 2012年12月15日（木） 会場未定 <p>4. 運営組織（副委員長等）</p> <ul style="list-style-type: none">副委員長 吉田 邦正 （株）イースト・インターナショナル 代表取締役社長）三ツ谷 佐代子（株）ビーコムコーポレーション代表取締役社長）志太 勤一 （シダックスフードサービス(株) 代表取締役）	

【会員交流部門】

委員会
委員長

定例会委員会

大塚 雅樹 (株)JTB 法人東京 取締役マーケティング部長)

1. 活動目的

「楽しくなければNBCではない!!」のスローガンのもと、著名講師が語るテーマ内容を学びつつ、チャレンジする経営者、IPOを目指す企業家、また企業内新規事業担当者や経営支援企業等、参加者各位の出会いやビジネスチャンスの拡大など、有意義な会員交流の場を提供する。

2. 活動内容

定例会の企画、運営を行う。委員会では、開催に際し運営会議や、講師の選定、講師との事前打合せを適宜行い、定例会の司会や当日の運営も、委員会とNBC事務局で連携して実施する。

「定例会」の内容は、凡そ以下の通り（状況に応じ組合せあり）

(1) セミナー（講演会） ※講演、対談、パネルディスカッション

NBC会員内外問わず、各界の著名人（経済界、政官界、学会等）また、会員ニーズにあった方を講師として、またはパネラーとしてお招きし、直々にお話を伺うことで、経営者として、刺激やヒントが体得できる学習の場を提供する。

(2) 他委員会、研究部会とのジョイント企画実施

他の各委員会とタイムリーに連携することにより、シナジー効果の高い企画内容を実施する。今年度は、特に新入会員委員会との連携を深め、新規会員獲得の場としての試みをする。

(3) 懇親会

会員交流、親睦を目的とし、立食パーティーで開催。新入会員の紹介の場を設ける。

(4) 関東圏NBCとの交流

関東圏1都10県のNBC会員相互の交流を図るため、他のNBC宛に定例会を案内する。

3. スケジュール（予定）

理事会後の開催を原則基本とし、会場はANAインターコンチネンタルホテルを使用する。

4月20日（水）、5月11日（水）、7月20日（水）、9月22日（木）、
10月11日（火）、2月15日（水）

4. 運営組織（副委員長等）

副委員長 今井 千晶 (株)フタバファー 代表取締役社長)
黒部 得善 (株)リーガル・リテラシー 代表取締役)
金子 篤史 (株)エックスグラビティ 代表取締役社長)

【会員交流部門】

委員会 委員長	新入会員委員会 下村 朱美 (株)シェイプアップハウス 代表取締役)
<p>1. 活動目的 新入会員のNBC活動へのスムーズな誘導と、その定着を主目的とし、活動する。</p> <p>2. 活動内容 (1) 新入会員企業の活動参画のフォローアップ新入会員企業が、初期段階で支障なく協議会活動に参加できるよう、定例会での新入会員紹介をはじめ、他委員会や他部門との連携により、新入会員がNBCに魅力を感じ、活動に参画し、定着するまで他委員会とも協力し、つつがなく誘導する。 (2) 定例会委員会とコラボレーションし、入会から迅速に「NBC を楽しく活用する会」に誘導し、理事（委員長）と新入会員の交流の機会を設ける。 (3) 新入会員ウェルカムパーティー会長、副会長、各委員長がホストを務め、新入会員およびその推薦者をゲストとした NBC 活動参画へのガイダンス的役割を持つウェルカムパーティーを行う。 年度末を予定、その年度に入会した方全員を招待する。</p> <p>3. スケジュール（予定） 定例会全6回、定例会開催前に NBC を楽しく活用する会を行う。</p> <p>※いずれも 17 時～17 時半 予定（30 分） 第1回 4月 ※対象：前年度2、4月入会者 第2回 5月 ※対象：5月入会者 第3回 7月 ※対象：7月入会者 第4回 10月※対象：9月入会者 第5回 2月 ※対象：11、1月入会者</p> <p>他、ウェルカムパーティー年1回（3月14日（水））</p> <p>4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 山田 直大（株）東京アート印刷所 代表取締役)</p>	

【政策提言部門】

委員会 委員長	IPO大賞委員会 井川 幸広 (㈱クリーク・アンド・リバー社 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的 創設後、第6回目を迎える「IPO大賞」として、株式上場1年目の「ルーキー部門」と、株式上場後4年経過の「グロース部門」、両部門の更なる浸透・定着を意図とする。 この大賞の意義である「株式上場により日本経済を活性化させたり牽引している企業を顕彰すること」を世間に広報すると共に、「表彰式」を華やかに開催し、認知度向上を図る。</p> <p>2. 活動内容 (1) 表彰企業の選考（本年度は） ①ルーキー部門 — 10年10月～11年9月迄にIPOを実施した企業が対象 ②グロース部門 — 06年10月～07年9月迄にIPOを実施した企業が対象 ＜グロース部門の条件＞ ・直近決算時売上高100億円以上 ・IPO実施時と直近決算時売上対比200%以上 *今回のグロース部門は、第2回IPO大賞の「ルーキー部門」の選考期間が、対象とる。</p> <p>(2) 委員会 ①「審査委員会」 — 外部有識者3名を加え、NBC会員の選出審査員が選考・選出する。 ②「表彰式委員会」 — 大賞企業を、世間に広報しつつ、過去の受賞企業を含めた華やかな交流の場としての演出を企画する。6回目を迎えるにあたり、より一層の認知度向上を図る。</p> <p>3. スケジュール（予定） (1) 審査委員会 9月頃、本年度の大賞内容を確認・検討する。 10月 一次審査委員会を開催する。 11月～12月 二次審査・最終審査委員会を、適宜、開催する。</p> <p>(2) 表彰式委員会 4～5月に、本年度の企画内容を検討する 以降、随時委員会を開催し、企画内容を具体化する。 翌3月 第6回IPO大賞表彰式開催（予定） (H24年)</p> <p>4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 四分一 武 (㈱ToBe Next 代表取締役社長) 井田 正幸 (㈱ブレイク・フォールド社 代表取締役)</p>	

【政策提言部門】

委員会 委員長	政策委員会 井上 高志 (株)ネクスト 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的</p> <p>今年度の政策委員会では昨年取り組んだ「労働基準法」についてのまとめと、外国人雇用（外国人の日本での就労）の規制緩和に向けての提言を、国際委員会と共にまとめていきたいと考えています。人口減少が続く日本の企業にとって、「労働力の育成・最大化」は最重要テーマのひとつです。今年度は、このテーマに、国際委員会と共に取り組んでいきたいと思います。また、エンジェル税制の拡大など、税制改正要望についても税制についての小委員会を組成し取り組みます。</p> <p>2. 活動内容</p> <p>(1) 政策提言に向け、講師を招いての懇談会や勉強会を実施し、成果を広く会員に告知する。 (2) 制度改正や行政政策等についての情報提供や解説を行う。 (3) 特に今年度は「外国人雇用」の領域に言及し、国際委員会と協力し「NBCからの提言」として纏める。 (4) その提言を通じて、行政との関係構築を図る。</p> <p>3. スケジュール（予定）</p> <p>年2～3回の学習会</p> <p>4. 運営組織（副委員長等）</p> <p>副委員長 平井 由紀子 (株)セルフウイング 代表取締役 黒部 得善 (株)リーガル・リテラシー 代表取締役)</p>	

【政策提言部門】

委員会 委員長	キャピタル戦略委員会 湯川 智子（㈱ドゥ・クリエーション 代表取締役会長）
<p>1. 活動目的 NBCエンジェルファンドの運用先に関する審査会の開催や、国内外でのIPO、資金調達の方法などに関し勉強会を開催し、具体的な課題の検討や解決策を探る。</p> <p>2. 活動内容 (1) NBCベンチャーファンド審査会 NBCエンジェルファンド1号の投資先（エンジェル税制対象企業）の選考を行う。 (2) IPOセミナー IPOを実施する際の様々な課題や問題点などを、外部専門家や公開実現企業を招聘して具体的なセミナー形式で開催する。</p> <ul style="list-style-type: none">●特別講演 ⇒ ベンチャースピリッツを応援いただけるゲストの講演。●上場企業体験談 ⇒ 公開実現のケース・スタディを上場経験者から学ぶ。●市場研究 ⇒ 市場関係者による最近の株式市場の動向や、外部専門家（証券会社・ベンチャーキャピタル）などの投資家視点による市場研究。●実務社勉強会 ⇒ 公開窓口となる証券会社、企業側の実務担当者等の勉強会。●サクセス・ミーティング⇒IPOを実現した上場企業の社長をお招きしての交流会など、和やかな雰囲気『語らいの場』を提供します。 <p>3. スケジュール（予定）</p> <ul style="list-style-type: none">・NBCベンチャーファンド審査会の開催は、投資先案件が生じ次第、適宜開催する。・4月～5月 オリエンテーション・以降、勉強会や市場研究など、年3～4回開催予定。 <p>4. 運営組織（副委員長等）</p> <p>副委員長 上島 規男（㈱イントランス ファウンダー） 永瀬 俊彦（事業創造キャピタル㈱ 代表取締役）</p>	

【外部広報部門】

委員会 委員長	広報委員会 倉橋 泰 (株)ぱど 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的 関東ニュービジネス協議会のPR 認知拡大に努める。 NBC に対して好意的な注目度・関心度を高め、NBC の活動に常に期待をもって話題、ニュースとして取り上げてもらうようにしていくこと。 NBC の各委員会と連携を保ち、活発な活動を分かり易く、楽しく内外に発信していくことで会員はもとより企業経営者・学生に至るまでの幅広い層に NBC の活動の拡大認知に努める。また、新入会員獲得を推進する活動の側面支援も行う。</p> <p>2. 活動内容 各委員会の委員長や事務局と連携をとり、委員会活動の情報を早い段階から提供していただき、内外への広報機会を逃さないようにする。 ホームページのより一層の充実を図る。毎月Web会報「NaBiC」の発行を踏襲し、より多くの会員に情報提供を行う。また、フリテン等のあらゆる媒体を活用し、NBC の認知拡大・PR のための戦略を立てる。 他異業種交流会などで、NBC の認知機会を創出するなど、外部へのPR につとめ、1 社でも多くの会員を獲得できるよう取り組んでいく。</p> <p>3. スケジュール (予定) 広報活動の必要に応じ、随時招集。(基本的に毎月 1 回 (株)ぱど会議室にて開催)</p> <p>4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 山田 直大 (株)東京アート印刷所 代表取締役)</p>	

【外部広報部門】

委員会	国際委員会
委員長	深沢 栄治（㈱光彩工藝 代表取締役社長）
<h3>1. 活動目的</h3> <p>人口減少が続き、既存市場が縮小していく日本の企業にとって、事業の「国際化」は最重要テーマのひとつです。「市場のグローバル化」「社内（人材）のグローバル化」は、今後多くの日本人経営者がチャレンジしていくべきテーマとなるでしょう。</p> <p>今期の国際委員会では、海外での事業展開の事例学習に加え、海外からの人材獲得という観点から「外国人雇用」に関する規制について掘り下げ、政策委員会と共に提言をまとめていきます。他の委員会・研究部会とのコラボレーションを通じてより多くの会員に、自らの「国際化」を目指して頂くことをテーマとします。</p>	
<h3>2. 活動内容</h3> <p>■外国人雇用拡大に向けての提言作成：政策委員会と共同でプロジェクトを作り、提言を作成する。</p> <p>■学習会の開催：年4～5回開催。</p> <p>テーマ ①「外への国際化」（海外展開）と「内なる国際化」（海外からの集客、人材獲得） ②国内視察・海外視察に向け、訪問先について有力なテーマを絞り学習し、現地での交流会や視察に役立てる。</p> <p>他委員会との連携学習：政策、人財創生、ベンチャー創出、環境、地域・・・等。 テーマに関連する各委員会・研究部会との共同開催を実施し、できるだけ多くの会員企業にご参加いただく。</p> <p>■視察：国内「内なる国際化の現場」視察1回（8月頃）、海外視察1回（10月15～19日シンガポール予定）</p> <p>■外部団体との継続的交流の実施：和僑会・中華全国青年連合会とのビジネスマッチングを核とした交流会の開催</p>	
<h3>3. スケジュール（予定）</h3> <ul style="list-style-type: none">・4月 学習会1（シンガポール大使館での学習会）・5月 学習会2・6月下旬 学習会3・7月 学習会4（海外留学生のインターンシップ、人財創生委員会と共催）・8月 国内視察「内なる国際化の現場」・9月 学習会5・10月15日～19日 海外視察（シンガポール予定）・11月 学習会6 視察報告会・1月 総括会・1～3月 フォローアップ学習会（適宜） <p>※上記、全会員向け活動の他、外国人雇用拡大に関する提言取りまとめのためのプロジェクトを適宜開催し、提言をまとめる</p>	
<h3>4. 運営組織（副委員長等）</h3> <p>副委員長 下村 朱美（㈱シェイプアップハウス 代表取締役） 副委員長 堀添 英人（財団法人ユースワーカー能力開発協会 常務理事） 副委員長 林 すた～らいと（東明総研㈱ 取締役 東京本校 副学院長）</p>	

【外部広報部門】

委員会 委員長	環境委員会 木地本 朋奈 (㈱トリリオン 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的 焦点となっている温室効果ガスの削減を中心に、世界の潮流となっている環境問題に対し、中小企業を中心に何が出来るのか模索する。</p> <p>2. 活動内容 (1) CO2 排出量削減をはじめ、近年の環境問題の対処について具体的な成功事例の紹介を行う。 (2) 東京都委員会とも連携し、都の環境施策について、情報・意見交換会などを通じ信頼関係構築を図る。</p> <p>3. スケジュール (予定) ・ 4月～5月 オリエンテーション開催 ・ 以降、年間に5～6回の勉強会などを開催する。</p> <p>4. 運営組織 (副委員長等) 副委員長 岩下 一智 (㈱ピー・ティー・ランド 代表取締役) 山家 一繁 (㈱ワイエムジーワン 代表取締役社長) 田宮 嘉一 (㈱エコヒルズ 代表取締役) 黒部 得善 (㈱リーガル・リテラシー 代表取締役)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

【地域連携部門】

委員会	ビジネスマッチング委員会
委員長	西村 剛敏（明成建設工業(株) 代表取締役社長）
<p>1. 活動目的 会員企業の事業内容を表面化する事で、会員相互のビジネスチャンスの拡大を推進する。その為、新入会員へのビジネスプレゼンを行う場の提供、また、独自のコミュニティサイトを通し会員企業の次の一手をサポートする。</p>	
<p>2. 活動内容 (1) ビジネスマッチング企画の運営 (2) コミュニティサイト『新しい暮らし方総合研究所』の運営 (3) 定例会委員会との交流による新入会員企業のプレゼンテーション (4) JNB及び関東圏NBCとの連携</p>	
<p>3. スケジュール（予定） 第1回 5月27日（金） 第2回 6月28日（火） 第3回 7月26日（火） 第4回 9月27日（火） 第5回 10月25日（火） 第6回 11月22日（火） 第7回 12月21日（水） いずれもNBC会議室にて18：30～20：30開催</p>	
<p>4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 中島 セイジ（㈱クォーターバック 代表取締役社長） 今井 勉（㈱アインザ 代表取締役社長） 成田 繁荘（㈱マクスマラシステムズ 代表取締役）</p>	
以上	

【地域連携部門】

委員会 委員長	東京都委員会 山家 一繁 (㈱ワイエムジーワン 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的 都の行政や施策に対して協調関係を構築し、関東圏NBCを中心として他地域への情報発信も行う。 11月開催の「産業交流展」への効果的な出展方法を検討していく。また、財団法人東京都中小企業振興公社へもアプローチを行い、都の環境ビジネス情報の収集・伝達及び共催等を促進する。</p> <p>2. 活動内容 (1) 11月開催の「産業交流展2011」への「関東ニュービジネス協議会」として出展方法を検討する。 (2) 地域連携部門の他委員会（ビジネスマッチング・対外交流の両委員会）や、環境委員会との共催を通じて連携強化を促進する。 (3) 覚書を締結している（財）東京都中小企業振興公社と、助成金支援などの諸施策を実施することで、更なる関係構築を図る。</p> <p>3. スケジュール（予定） ＜具体的な活動内容＞ 4月～5月 オリエンテーション開催 6月以降 ①適時、勉強会開催する。 また、都の共催など、NBCにとって有意義な企画について研究する。 ②11月開催の産業交流展2011への出展方法の検討会を開催する。 11月 産業交流展2011に出展する。 適宜 他委員会との連携企画の実施</p> <p>4. 運営組織（副委員長等） 副委員長 高田 容治 (㈱ナバ 代表取締役社長) 山田 直太 (㈱東京アート印刷 代表取締役社長) 波多 晋 (㈱リーガル・リテラシー 取締役COO)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

【地域連携部門】

委員会 委員長	対外交流委員会 佐藤 義孝 (NTT インテリジェント企画開発(株) 特別参与)												
<p>1. 活動目的</p> <p>関東圏1都10県の、地域 NBC との協力関係を軸に、全国の地域 NBC との連携を図ると共に、外部の他団体 (ex.文化・芸術等の団体) との異業種交流の促進も模索する。</p> <p>特に、「オープンマインドで育てるベンチャー精神」を目指して、各地域のエネルギーと協調しながらピンチをチャンスに変えるバイタリティと行動力で、会員相互の交流をより積極的に推進し、ニュービジネスの風土作りに貢献する。</p> <p>2. 活動内容</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 「JNB全国大会」(日時; 11月10日(木) 主管は関西 NBC) の開催に協力すると共に、NBC から50名の参加を目標とする。(2) 関東圏 NBC 会員交流会 (1都10県; 主管はとちぎ NBC) 開催に協力 (共管: 関東 NBC) する。(3) 関東圏各地域 NBC の各々の年間計画を把握し、委員会活動を共催したり当委員会委員が参加するなど、会員の相互交流を推進する。(4) 日本ベンチャー学会 (第14回全国大会; 11月26日(土) ~27日(日)) をはじめとする、他外部団体との交流促進等を行う(5) 国際委員会をはじめ、部門の2委員会及び他の NBC の委員会と、適宜、共催・交流を行う。 <p>3. スケジュール (予定)</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 4月~5月 オリエンテーリングを開催する。(2) 「関東圏 NBC 会員交流会」の集客・運営に協力する。(開催日程未定)(3) 11月の「JNB全国大会」の集客・運営に協力する。(4) 定例会委員会が開催する年7回の「定例会」を、関東圏NBCにも案内し、会員交流を促進する。(5) 新設の「文化・芸術のパワーに学ぶ研究部会」を支援し、地域発の文化・芸術に実際に触れると共に、国内外へのビジネス展開のアドバイス等を行う。 <p>4. 運営組織 (副委員長等)</p> <table><tr><td>副委員長</td><td>吉田 邦正 (株)イーストインターナショナル 代表取締役社長)</td></tr><tr><td></td><td>平沼 大二郎 (株)K&D レストランズ 代表取締役社長)</td></tr><tr><td></td><td>秋元 義彦 (株)パン・アキモト 代表取締役社長)</td></tr><tr><td></td><td>小西 國義 (株)グローバル524 代表取締役社長)</td></tr><tr><td></td><td>田中 豊 (アートグリーン(株) 代表取締役社長)</td></tr><tr><td></td><td>高橋 雅之 (株)わらび座 所長代理)</td></tr></table>		副委員長	吉田 邦正 (株)イーストインターナショナル 代表取締役社長)		平沼 大二郎 (株)K&D レストランズ 代表取締役社長)		秋元 義彦 (株)パン・アキモト 代表取締役社長)		小西 國義 (株)グローバル524 代表取締役社長)		田中 豊 (アートグリーン(株) 代表取締役社長)		高橋 雅之 (株)わらび座 所長代理)
副委員長	吉田 邦正 (株)イーストインターナショナル 代表取締役社長)												
	平沼 大二郎 (株)K&D レストランズ 代表取締役社長)												
	秋元 義彦 (株)パン・アキモト 代表取締役社長)												
	小西 國義 (株)グローバル524 代表取締役社長)												
	田中 豊 (アートグリーン(株) 代表取締役社長)												
	高橋 雅之 (株)わらび座 所長代理)												

【研究部会】

研究部会	ベンチャー企業経営者が地方自治体の首長になろう研究部会
研究部会長	本多 均 (株)ジャスト 代表取締役社長)
1. 活動目的 経営者が経営のノウハウを生かし 地方自治体を活性化、元気にする。 日本の国が20年間続いた閉塞感から脱却させ、人が幸せを感じられる町を創る。	
2. 活動内容 地方自治体の市長、町長をゲストに呼び 現状の地方自治の問題点を勉強 (第一回キックオフは 前杉並区長を予定) → 4/12(火) 決定 経営者が地方自治体に何が出来るか 検討する 地方自治体を招き 経営者と討論 地方自治体訪問 経営者からの提案 地方自治体へ 副市長、助役を派遣する計画案 以下は中期計画 NBC 研究部会から 副市長、助役を派遣 その後は 市長、町長選挙へ立候補者支援 NBC出身者の地方自治体首長の継続的な支援。(幸せを感じられる町づくり支援)	
3. スケジュール 活動は原則 毎月第二火曜日	
4. 賛同者 大久保 秀夫 (株)フォーバル) 重茂 達 (経営サポートサービス株) 山家 一繁 (株)ワイエムジーワン) 黒部 得善 (株)リーガルリテラシー) レイコ ビー リスター (株)エル・インターナショナル) 岩下 一智 (株)ピーティランド) 高山 東明 (東明総研株) ぬでじま えいじ (有)シーエスサービス) 鈴木 真 (真法律会計事務所) 若林 和子 (みなとアドバイザーズ株)	

研究部会 研究部会長	ソーシャルビジネス研究部会 田中 勇一（リソウル㈱ 代表取締役）
<p>1. 活動目的</p> <p>本研究部会では、財政危機などによって公的セクターの手の行き届かない分野や民間企業がビジネスの対象とすることのない分野を主として、ビジネスの手法により事業の自立性を確保し、効果的・持続的に社会的課題の解決を図ることを目的とするソーシャルビジネスの勉強会を通じて、NBC会員のニュービジネスの発展に寄与する。</p> <p>2. 活動内容</p> <p>国内外を問わず、特異な手法で広く社会的価値を創出する活動を実践している民間企業やNPO法人などの様々な組織形態の活動実態を把握しつつ、勉強会・講演会の開催および政策提言等を行いソーシャルベンチャーの活動を促進します。</p> <p>(1) ソーシャルビジネス型のニュービジネス事業展開の可能性検討等に関する勉強会開催 (2) ソーシャルビジネスの先進事業主体の視察と情報交換 (3) ソーシャルビジネスの事業主体に対する支援の可能性検討 (4) 講演会・シンポジウム等の啓蒙活動の推進 (5) 実態調査や共同研究に基づく政策提言 (6) その他の研究部会設立趣旨に即した活動</p> <p>3. 賛同者</p> <p>櫻澤 仁（文京学院大学 経営学部教授） 岡本 貴士（㈲アースライト 代表取締役社長） 金子 篤史（㈱エックスグラビティ 代表取締役社長） 高橋 ゆき（㈱ベアーズ 専務取締役） 西村 剛敏（明成建設工業㈱ 代表取締役） 坂田 生子（松下運輸㈱ 代表取締役社長）</p>	

研究部会	ドラッカー研究部会
研究部会長	佐藤 純（青山人事コンサルティング(株) 代表取締役）
<p>1. 活動目的 ドラッカーの赤本（ドラッカー・エターナル・コレクション ダイアモンド社）を読み、 ①参考になったこと ②それをどのように経営に活かすか について、討論を行う。 これにより、ベンチャー企業の発展に生かすことを目的とする。</p> <p>2. 活動内容 1 会合の進め方の概要 ① 毎月、一回の定例会を開催する。 ② 一章を一回の討論の読書範囲とし、事前に指定する。場合によっては難解な内容もあるので、部会長が簡単にまとめた要約文（A4で2枚程度）を、事前に配布する。 ③ 参加者は、会合前に要約文か原本を読み、「参考になった部分」、「それをどのように経営に活かすか」を考えてくる。 ④ 会合では、リーダーのもとで、討論をする。（1年で1～2冊を読む、本は参加者購入） 2 具体的な読書するドラッカーの本 ①経営者の条件 ②現代の経営 ③イノベーションと企業家精神 ④創造する経営者 ⑤断絶の時代 ⑥産業人の未来 ⑦企業とは何か ⑧マネジメント</p> <p>3. 賛同者 田子みどり（株コスモピア 代表取締役） 端山 浩幸（株ワース・テクノロジー 代表取締役） 清水 祐孝（株鎌倉新書 代表取締役） 野村 洋子（インブルーム(株) 代表取締役） 竹内 清之（株マネジメントサービスセンター 代表取締役）</p>	

研究部会	文化・芸術のパワーに学ぶ研究部会
研究部会長	高橋 雅之 (株)わらび座 所長代理
<p>1. 活動目的 NBC 会員に新しい心の風を！日本における文化・芸術を会員が実際に体験し、その成り立ちとビジネスモデルを学ぶ機会を創出する。さらに、文化・芸術の持つパワーが地域との接点を持ってどのようにビジネス展開できるかを研究する。</p> <p>2. 活動内容 ①体験と②学びディスカッションすることの2本の柱で活動する。</p> <p>2011年3月 研究部会設立へ向けたプレ企画 特別講演「わらび座に学ぶ～文化芸術創造都市モデル事業採択にあたって～」 (株)わらび座 代表取締役 小島克昭を囲む会</p> <p>2011年5月 研究部会設立記念特別鑑賞会 映画「おにいちゃんのハナビ」 *2011年6月以降 隔月で鑑賞・体験とビジネス研究会</p> <p>2011年秋 研究部会特別講演 文化庁幹部を招いての講演会</p> <p>3. 賛同者 佐藤 義孝 (NTT インテリジェント企画開発(株) 特別参与) 首藤 健次 (株)マザーズシステム・ジャパン 代表取締役社長) 田子みどり (株)コスモピア 代表取締役) こもだたかこ (株)エス・エス・シー 代表取締役社長) 秋元 義彦 (株)パン・アキモト 代表取締役)</p>	

研究部会	人間力研究部会
研究部会長	奥寺 邦俊 (オーエフピー(有)代表取締役)
<p>1. 活動目的</p> <p>① 仕事に意欲のある経営者及び予備軍が集い時代の波を読みイノベーション能力を高める。</p> <p>② NBC会員増強の為に、新規企業の体験参加者に強く呼びかけ、継続の力を持って、既・未会員枠を超え経営者として人間力を確認する。</p> <p>③ 会員間の積極的交流の場を提供し、明日の事業に役立たせる</p> <p>《人間力研究部会》</p> <p>人と人の中には、聴く・話す・見る・触れる・考える、行動する、それらの力がバランスよく必要であるが、それらの強弱も固有の癖も、個性もその全てが人間性を表すものである。</p> <p>2. 活動内容</p> <p>① 部会は月一回、基本的にNBC会議室で実施する。</p> <p>② 部会員の今日の悩み・疑問・問題点及び成果等をテーマにして談議する。</p> <p>③ 部会員が今日、見て感じる『時代の波を読む』をテーマにして談議する。</p> <p>④ 部会員・体験参加者は、研究テーマを創り積極的に参加する。</p> <p>⑤ 部会終了後には懇親会を設営し、部会で聞けなかったことなどを解消する。また部会員同士の親睦を深める。</p> <p>3. 運営組織 (副委員長等)</p> <p>副部会長 : 端山浩幸 : 福地徳恭 : 伊藤晃子</p> <p>特別顧問 : W・B・リサ : 高山東明 : 重茂 達 : 青沼三郎 : 扇谷和栄</p> <p>世話人 : 斉藤栄太郎 : 栗林美紀 : 田中 豊 : あらきかずこ : 若林和子 : 倉持恵子</p> <p>※記：実行メンバーは常に部会員・体験参加者が有意義な部会活動が出来るよう討議する。</p>	

研究部会	Twitter & Facebook 研究部会
研究部会長	星野 晃一郎 (株)ダンクソフト 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的 2011年ブレイクした Twitter, 2011年ブレイクするかもしれない Facebook 中小企業がインターネット時代の情報発信、情報共有する TOOL として期待されている。もちろん NBC 自体の PR メディアとしての位置づけも確認したい。また中央エフエムなど他メディアとのメディアミックスイベントも開催、研究していく予定。</p> <p>2. 活動内容 日々の Twitter、Facebook 上でのつぶやき、コメントが主たる活動。オフ会を開催して技術動向や不明点をクリアーし、日々の活動を支援する。メディアミックスイベント「ついったー市」を毎月 1 日、ダンクソフト室町スタジオで公開 Twitter, Facebook Ustream LiveMeeting と中央エフエムがコラボしてメディアミックスで中小企業の課題をテーマに生放送中でディスカッションする。</p> <p>3. 賛同者 田子 みどり (株)コスモピア 代表取締役) 今井 勉 (株)アインザ 代表取締役社長) 山田 直大 (株)東京アート印刷所 代表取締役) 首藤 郷 (株)マザーズシステム・ジャパン) 原田 知幸 (株)ステレオサウンド 代表取締役)</p>	

研究部会	知的財産研究部会
研究部会長	永瀬 俊彦（事業創造キャピタル㈱代表取締役）
<p>1. 活動目的</p> <p>日本経済の回復・発展にとって中小企業のベンチャーや新規事業の成長が不可欠であり、そのために資金と人材に制限のある中小企業が知恵を武器に自社にしかできないことを無形財産（インタンジブルアセット）として形にしていくことが必要となる。本研究部会によって、独創的な技術やアイデアを保護し、権利化するノウハウをNBCの会員に提供・活用してもらうことを目的とします</p> <p>2. 活動内容</p> <p>下記のテーマについてのノウハウの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 発明の権利化、特許・実用新案・商標・意匠の合理的な取得方法 ② 発明や開発の立案、他社権利への侵害回避、発明の特許性評価などの方法 ③ 広い範囲での権利取得のための文章化、出願手続きの方法 ④ 権利侵害に対する警告の方法および警告を受けたときの対応策 ⑤ 不正競争防止法、著作権、契約関係などに関わる知識 <p>以上について、定期的な勉強会の開催および会員に対する情報提供を行うとともに、会員の相談窓口として活動する。</p> <p>3. 賛同者</p> <p>吉田 芳春（吉田国際特許事務所 所長） 熊崎 友久（アビックス㈱ 代表取締役社長） 吉房 滋（㈱ゼウス・エンタープライズ 代表取締役社長） 阿部 達也（㈱日本プロバスケットボールリーグ 取締役） 山家 一繁（㈱ワイエムジーワン 代表取締役社長）</p>	

研究部会	次代創造研究部会
研究部会長	今井 千晶 (株)フタバファー 代表取締役社長)
<p>1. 活動目的</p> <p>①次世代経営者が抱える特有の悩みや、問題点を解決する糸口を探ると共に、次世代経営者に求められるスキルや知識の習得と意思決定力の醸成を目指す。</p> <p>②次世代経営者のネットワーク強化を目指す。専門講師を招いての学習会や文化的学習会を開催する。</p> <p>2. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩2世経営者を講師に招いての学習会の開催。 ・事業継承に関わる知識やスキルについて、専門講師を招いての学習会の開催。 ・部会員（次世代経営者）同士の問題意識共有のための意見交換会の開催。 ・次世代経営者としての素養を高めるための文化的学習会の開催。 <p>3. スケジュール（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研究部会 19時～21時 全10回 ●囲碁会（有料）18時～20時 全10回 <p>4. 賛同者</p> <p>池田 祥護（学校法人新潟総合学院 理事長）</p> <p>坂井 慎吾（株）サカイ食品 常務取締役）</p> <p>山田 直大（株）東京アート印刷所 代表取締役）</p> <p>西村 剛敏（明成建設工業株）代表取締役社長）</p> <p>首藤 郷（株）マザーズシステム・ジャパン）</p>	

研究部会	成功確率を高める上級ケーススタディ研究部会
研究部会長	小松 伸多佳 （個人会員）国際公認投資アナリスト

1. 活動目的

昨年に引き続き毎回ケース・スタディに則して、リスク分析、経営戦略、財務等について多面的、実践的に討議。天才経営者でなくても事業の成功確率を高められる実践的ノウハウを探求します。

2. 活動内容

- ・対象は、会員経営者の方々、大学生及び社会人など従来同様幅広く設定します。
- ・毎回1社をケース・スタディに選定し、以下のような流れを基本として討論を展開します。
 - ①経済ニュースなどのビジュアルな題材を視聴して、対象企業への理解を共有する、
 - ②「対象企業のリスク・テイクは何か?」、「あなたが経営者ならどうするか?」等の問題設定に沿って、自由討論する
 - ③ディスカッションを整理するために、財務分析、企業戦略・ビジネスモデル論、企業金融理論、証券分析論等を適宜引用、解説する
 - ④必要に応じて、企業博物館、店舗・工場見学、専門家講師登壇等を援用する。
(ケース例：キッザニア、花畑牧場、セブン銀行 etc.)
- ・座学と討論を中心に、年間15~20回くらいの開催を計画しています。

3. スケジュール（予定）

原則第2、第4月曜

4. 賛同者

- 山家 一繁（㈱ワイエムジーワン 代表取締役社長）
- 今井 千晶（㈱フタバファー 代表取締役社長）
- 田中 豊（アートグリーン(株) 代表取締役社長）
- 吉房 滋（㈱ゼウス・エンタープライズ 代表取締役社長）
- 坂井 慎吾（㈱サカイ食品 常務取締役）